

～下記の研究を行います～

『HIV 感染にともなう

脳血管障害に関する後ろ向き観察研究』

【研究責任者】

国立病院機構大阪医療センター 脳神経内科 医員 江左佳樹

【研究の目的】

抗レトロウイルス療法の発達によって、たとえ HIV に感染しても寿命を全うできる時代になりました。一方で HIV 感染後に長期的に脳梗塞などの病気が増えることが懸念されています。そこで本研究では当院の診療録にある既存情報を用いて、HIV 感染歴のある患者さんが将来、脳梗塞を発症しないようにするために、どのような治療や対策が必要かについて探索的な研究を行います。

【研究の期間】

研究許可日～2030 年 3 月 31 日

【研究の方法】

当院に通院歴があり HIV 感染歴のある患者さんを対象として、当院で撮影した頭部 MRI 画像や診療情報を匿名で収集し、脳血管障害の頻度や発症に関連する危険因子を同定します。

●対象となる患者さん

2006 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日までに当院で頭部 MRI を撮影した HIV 感染歴のある患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。身体所見、既往歴、内服歴、血液検査所見、頭部 MRI 画像所見など。

【情報等収集開始日】2025 年 5 月 12 日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】独立行政法人国立病院機構臨床研究事業研究費（PI 育成研究）

【利益相反】臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医

療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 脳神経内科 医員 江左佳樹